

倉吉記者クラブ加盟社 御中

発信元	琴浦町
担当課	企画政策課
担当者	住吉 康弘
連絡先	0858-52-1708
令和4年10月26日（水）	

「赤碕駅の活用について一緒に考えるワークショップ」

の開催について

JR 赤碕駅舎の今後の活用案について町民と一緒に話し合います。

- 日 時** 令和4年12月4日（日）13時30分～16時45分
開場 13時00分
- 参加者** 公募（20～30人程度を想定）
- 場 所** 赤碕地域コミュニティセンター（琴浦町役場分庁舎）2階多目的ホール
- 内 容**
 - 赤碕駅オンライン内部見学
JR西日本 担当者
 - 問題提起「駅の現状と活用の事例」
講師 米子工業高等専門学校 教授 ^{かとうひろかず}加藤博和 氏
 - ワークショップ
「みんなでつくる赤碕駅の未来 ～私たちができること～」
コーディネーター 鳥取大学工学部 准教授 ^{ちょうそかべ}長曽我部まどか 氏

事業目的等

- ✓ JR 赤碕駅が無人化となって1年半が経過し、建物の老朽化は進行し、駅利用者も減少しています。
- ✓ JR が駅舎の簡素化を検討するなか、琴浦町では駅舎を JR より譲り受けることを計画しています。そのためには事務室や休憩室等がある東側スペースの活用案が必要となっています。
- ✓ 赤碕駅で何ができるのか？地域住民や企業の関わり方は？今後も継続していく取り組みとするには？
- ✓ 公募による町民、地域団体、琴の浦高等特別支援学校など様々な関係者と一緒にアイデアを持ち寄り、魅力的なアイデアを実現に向けてすすめていきます。

赤碕駅の活用について 一緒に考えるワークショップ

参加
無料

12/4
(日)

今庁舎
多目的
ホール

琴浦町赤碕1140-1

赤碕駅が無人化になって一年半
歴史ある建物をこれからも残し、もう一度
人が集まる地域のホーム(拠点)にするために
赤碕駅の今後の活用について
アイデアを持ち寄り一緒に考えてみませんか？

町では赤碕駅舎をJRより譲り受けるにあたり、駅舎東側の空きスペースの活用案について検討しています。
駅舎活用のアイデアをお持ちの方は、ぜひワークショップに参加してご意見をお聞かせください。

【内容】

- 開場 13:00～ 受付
開会 13:30～ あいさつ、諸連絡
13:45～ 赤碕駅オンライン内部見学
14:00～ 問題提起
「駅の現状と活用の事例」
講師 加藤博和 氏
14:45～ 休憩
15:00～ ワークショップ
「みんなでつくる赤碕駅の未来
～私たちができること～」
コーディネーター 長曽我部まどか 氏
閉会 16:45

【申込み、問合せ先】

11/30 (水) までに次の①～③のいずれかの
方法でお申し込みください。

申込先 琴浦町企画政策課 企画担当

①二次元バーコードから申込フォームに入力

②メール kikaku@town.

kotoura.tottori.jp

③ファクシミリ (0858)49-0000

【申込項目】

・件名 赤碕駅ワークショップ申込

・氏名(ふりがな) ・住所

・電話番号(携帯) ・メールアドレス

※感染対策をとって開催します。

※マスク着用、消毒、換気等にご協力ください。



加藤 博和 氏

米子工業高等専門学校 教授

町地域交通再編計画
検討委員会 座長
R4年4月に行った「ことうらバス・ス
クールバス」の運行見直しに携わる。



長曽我部 まどか 氏

鳥取大学工学部 准教授

町総合計画審議会 会長
地方創生戦略、琴浦まちづくりビ
ジョン策定における住民会議でコ
ーディネーターを務める。